



ソフィア

10月号

日本のすみずみの場所が秋の色に染まってきました。
空が高くあちこちから金木犀の香りが流れてきます。
都会にも田舎にも秋の虫の声が耳を澄ますと聞こえてきます。
日本には、平安時代から虫の声を楽しむ習慣があったようです。1200万年も前から聞かれていた虫の声。自然は時代がどれだけ変わっても同じ時に巡ってきます。
古今東西、混沌とした今の時代も秋の夜長に鳴く虫の声に心穏やかにすべての人がなればよいと願います。
ソフィア時代の子どもたちは、自分の周りでおこることを全て良しとして受け入れていきます。子どもの頭は柔らかいねと言われる所以です。友達と玩具の取り合いをしても、友達と言い争いしても、けんかをしても、次の場面では手をつないでいたりして、子どもたちは自分と違う、考え方や外見や、さまざまな違いに心を開きコミュニケーションしていきます。
子どもたちから、人間は、あらゆることを超えて共に生きていける力があるのだと教えられます。子どもに恥じない大人の社会を作っていかなければと思う日々です。
10月。
運動会！大人も子どももそこに集う人たちの心が一つになる行事です。素敵な思い出となりますよう。そこに集う人たちが、気持ちが明るくなり子どもたちから、勇気をもらえる日となりますよう。

天の太陽は雲につつまれる日があっても
ここの小さな太陽たちは、いつだって好天気だ。

倉橋 惣三

